

学習環境整備① — クラブハウスの更新 —

① クラブハウスの概観

学習環境整備の主たる事業として、クラブハウスの更新を計画しています。運動部の倉庫として用いられていますが、老朽化が激しく、早急の対策が必要となっています。このクラブハウスは、45年前に建てられました。割れっばなしの窓、壊れたドアノブ、雨漏りなど、あちこちで老朽化がすすんでいます。創立50年の節目の年に、生徒たちが級友と有意義な時間を過ごせる場に生まれ変わります。

現在のクラブハウス（外観）



昭和46年に建てられ、多くの千里高校生の生活を支えてきました。

現在のクラブハウス（入口）



写真中央のドアの窓ガラスは割れたままで、段ボールで補修しています。写真左のドアは建て付けが悪く、ドアがきちんと閉まりません。

生徒が描いた理想図と意見（外観）

雨水のたまらない屋根

約20部屋（現在も20部屋）

明るく統一感のある色合いの壁

すりガラスで丈夫な窓



明るくて、ドアがきちんと開閉できて、雨漏りしないクラブハウスがほしい。（サッカー部）

みんなが集まって話せる場所にしたい（女子ソフトボール部）

学習環境整備② — 50周年記念室および記念庭の整備

半世紀の歴史を展示する記念室を設置し、食堂裏の藤棚のある所を生徒同士が交流できる記念庭として整備します。

現在、正面玄関に各部の表彰状やトロフィーを飾るスペースを設けています。ほかにも、サイエンスセンターには、総合科学科生徒の文部科学大臣賞をはじめ各コンテストの表彰状・トロフィーがあり、海外の学校との交流の際の記念の品が随所に点在しています。これらを集め展示するスペースを設け、千里高校のこれまでの取組みを振り返ることができる場とします。

現在の食堂裏・藤棚スペース



ベンチは設置されているが、利用者はほとんどいない。

食堂裏の藤棚を整備することにより、多くの生徒が集うようになります。

既存の場所を有効活用し、生徒がコミュニケーションを取れる環境の整備を！（教職員）